



Title	臨床哲学 第16号 目次
Author(s)	
Citation	臨床哲学. 2015, 16
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/51587">https://hdl.handle.net/11094/51587</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 『臨床哲学』第16号 目次

### 〈論文〉

「私たち」という感覚を育むために

——哲学カフェとシティズンシップ・・・・・・・・・・・・・・・・三浦 隆宏 3

アイデンティティを引き受ける

——バトラーとクィア / アイデンティティ・ポリティックス・・・・藤高 和輝 23

The basic framework of knowledge about practice in nursing research

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Hiroshi Ietaka 42

“Brain gender” talk and the relationship between science and narrative: Situations in

Japan・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ Haruka Tsutsui 61

### 〈翻訳〉

単なる喪失ではない：加齢に伴う認知症における自己のあり方

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・リサ・フォークマーソン・シェル 82

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（青木 健太・浜渦 辰二 訳・解題）

スタートアップキット © 初心者の子どものテツガク授業集（第3版）

・・・・・・・・・・・・・・・・ Dr. トーマス・ジャクソン、アシュビー・リン・バトナー 110

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（中川 雅道 訳・解題）

### 〈研究ノート〉

開かれた住まいの可能性と住まいの安全性

——「中津の家（仮）」と「田田庵」を中心に、安定性 / 不安定性を巡って

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・田中 悠太 135

対話を通して「まちづくり」の課題を問い直す・・・・・・・・・・・・・・・・前原 なおみ 147

〈報告〉

精神障害をもつ人たちを地域で支える取り組み

——「べてるの家」訪問研修報告	158
まえがき	158
べてるの家における家族支援の在り方	162
未来に向かう文化	165
自分について安心して話せる場をみんなでつくる	169
「老い」と向き合う	
——『浦河べてるの家』訪問記(2014年9月10・11日)	173
「当事者研究」と私の葛藤	
——『浦河べてるの家』訪問記	178
ケアを学習する会	
——精神障害のある方を地域で支えるTEAMぴあ[浜松]の試み	185
川村敏明先生へのロングインタビューの記録	225
臨床哲学研究会記録	254
『臨床哲学』投稿規定	260
執筆者一覧	262